



あつ ゆき

自民改革会 議
静岡県議会議員

らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

第17号 2016.3



12月定例会
一般質問

本県水産業におけるTPP対策 ～TPPに対する静岡県の基本方針～

魚市場など拠点施設の整備

12月県議会定例会において水産業におけるTPP対策についての一般質問を行い、県から次のような返答がありました。

質問

TPP交渉の大筋合意を受け、国からは農林水産物への影響分析が示されつつある。水産業については影響は少ないとの報道も見られるが、大きな影響があると感じていることから、今回、水産業に特化して県当局の見解を伺う。

本県は漁業から水産加工業を通じ、全国きつての水産県である

が、漁業、水産加工業とも多くの課題を抱えており、今回のTPP大筋合意により新たな課題が追加となった。多くの魚種での関税撤廃による価格変動などの直接的な影響だけでなく、畜産物の関税の大幅引き下げによる魚類から肉類への消費シフトの進行も懸念されている。

しかし、TPPの影響をすべてネガティブに考えているわけではなく、新たな輸出機会や外国からの原料調達など、ビジネスチャンスが広がる可能性も秘めている。

このため、今回のTPP大筋合意を受け、本県漁業、水産加工業において、より一層競争力を強化するための所要の対策に取り組む必要があると考えるが、県の対応について伺う。



県、荷さばき施設整備支援

TPPへ焼津、伊東漁港

県は環太平洋連携協定（TPP）発効に備え、焼津、伊東両漁港に設計や建設を進める荷さばき施設整備を予定。県は、水産物の競争力強化の機会を構築する。TPP発効後は海外からの水産物輸入が増える可能性もある。東海強化計画で、焼津、伊東両漁港の整備を推進している。焼津、伊東両漁港の整備は、水産物の品質向上とブランド力向上を目指す。今後、国の交付金助成の採択を目指す。

両施設とも老朽化に伴う建て替えで、焼津、伊東両漁港の両面で、船から下ろした水産物を衛生態勢強化の動きが進めると位置付けている。

平成28年1月27日 静岡新聞

答弁

本県水産業におけるTPP対策について

県といたしましては、今回のTPP交渉の大筋合意を契機として、水産物高付加価値化、輸出による販路拡大、収益性の高い操業体制への転換などを推進し、国際化に対応できる本県水産業の構築を進める考えであります。

この方針の下、10月末に水産関係団体が設置した「静岡県TPP漁業対策協議会」に県も参加して、支援しているところであります。



※写真はイメージです。

これまでの協議の結果、水揚げした魚の衛生管理の高度化を図るため、魚市場などの拠点施設の設備に取り組むことや、老朽化漁船のリニューアルや省エネ化を進めることとなりました。また、将来を担う漁業者の育成や、資源管理の方策を積極的に対応するほか、県漁連が主体となって、輸出促進に向けた専門組織を設立することとなりました。

今後は、各浜ごときめ細かな課題の掘り起こしを進め、国の支援策を積極的に活用して、速やかな対策を実行してまいります。

水産分野におけるTPP対策

多彩で高品質な本県水産物・水産加工品の強みを活かし、国際競争力をより一層高めるため、徹底した鮮度管理や新商品開発による水産物の高付加価値化、輸出による販路拡大、収益性の高い操業体制への転換や6次産業化などを支援する。

主要政策と関連予算額

水産物高付加価値化 1,200,268千円	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者等が産地を挙げて取り組む鮮度保持技術の向上を支援 衛生管理の向上を目指して行う魚市場等の拠点施設の整備 消費者ニーズに適う新商品開発に向けた技術提供やPRの支援
輸出促進(再掲) 1,201,968千円	<ul style="list-style-type: none"> 県と水産団体が「水産物・水産加工品輸出促進部会」を設置 海外市場の調査や輸出に向けた生産流通体制の整備
生産体制の強化 40,122千円	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの推進や経営体統合など、収益性の高い操業体制への転換 6次産業化の推進による収益性の強化 漁協組織を強化するため、漁協合併の推進
担い手の育成 27,885千円	<ul style="list-style-type: none"> 新規就業希望者への情報・教育機会の提供。 団体職員のマネジメント能力向上
資源管理 340,528千円	<ul style="list-style-type: none"> 資源の持続的利用に向けた種苗生産や漁場整備、操業ルールの確立

建設委員会

野球場等の建設整備予定の 遠州灘海浜公園について

基本計画が県から示された事に対し 修正案を提出しました。

※写真はイメージです。



県西部地域における県民のスポーツ・レクリエーション需要に対応し、また、野鳥観察園等自然環境を活かした環境学習の場としての公園運営を目指す。

- 都市景観に風格を与える
- 自然景観の構成
- 田園風景の構成
- 運動・遊びの場
- 散策・自然学習の場
- 休養・休息の場
- 景観形成機能
- 健康・レクリエーション機能
- 防災機能
- 延焼の遅延や防止
- 被災後拠点
- 災害時の避難場所
- 流量の調整、洪水の防水
- 省エネルギーに寄与
- 生物の生息環境
- 都市環境の維持・改善の機能
- 気温の緩和、大気汚染の浄化

遠州灘海浜公園の 機能・役割

20.3ha

遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画策定事業費の修正案概要

第1号議案「平成28年度静岡県一般会計予算」のうち、歳入歳出予算の歳出 第8款 交通基盤費 第6項 都市費 第5目 公園緑地費 第13節委託料を次のとおり修正する。

	原案 (単位:千円)
13 委託料	1,973.929

	修正案 (単位:千円)
13 委託料	1,901.829

対象事業の内訳	H28当初 (単位:千円)
野球場も含めた公園施設基本計画図作成 <ul style="list-style-type: none"> ● 地形・地質・気象条件（風等の影響を含む）等の計画条件を整理する。 ● 野球場等の導入施設の配置を定める。 ● 野球場等の導入施設の規模を定める。 ● 基本計画策定に向けた関係者との協議を実施する。 	48,000
周辺道路及び公園内の交通処理、交通アクセスの検討 <ul style="list-style-type: none"> ● 野球場の観客が、円滑に移動できるよう、公園及び周辺道路について、自動車や歩行者の動線を定める。 ● JR駅からの公共交通機関による交通アクセスを検討する。 	15,800
津波浸水想定、地盤の液状化対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ● 津波による浸水が野球場に及ぼす影響を検討するため、防潮堤完成後のL2津波による公園区域内浸水状況をシミュレーションする。 ● 地質調査結果に基づき、野球場の基礎構造に影響する地盤の液状化について、発生の有無を判定する。 ● 液状化する場合には、野球場の安定性を確保するため、対策工法を検討する。 	8,300
公園基本計画策定に必要な測量・地質調査 <ul style="list-style-type: none"> ● 公園基本計画図を作成するために必要となる現地の測量を実施する。 ● 公園施設基本計画図により配置される野球場の整備位置において、基礎構造や液状化判定を検討する資料とするため、地質調査を実施する。 	24,900
合計	97,000

	修正案 (単位:千円)
野球場も含めた公園施設基本計画図作成	0
周辺道路及び公園内の交通処理、交通アクセスの検討	0
津波浸水想定、地盤の液状化対策の検討	0
公園基本計画策定に必要な測量・地質調査	24,900
合計	24,900

修正案の提案理由

本委員会に付託された第1号議案平成28年度静岡県一般会計予算についてのうち、「遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画策定事業費」97,000千円について、次の理由により修正するものであります。

第1点

遠州灘海浜公園（篠原地区）へ野球場を整備することのコンセンサスがとれていない

しっかりと丁寧に篠原地区を整備することに對するコンセンサスを醸成した上で、次のステップに進むべき

第2点

県と浜松市の防災機能に對する負担のあり方について調整ができていない

浜松市と県が防災機能、整備に係る費用負担のあり方を明確にしてから、整備を進めていくべき

第3点

整備の時期をオリンピック・パラリンピックの開催に間に合わせる

東京オリンピック等の建設需要を鑑みて、予算額の見積もりや発注時期について、慎重に対応を

以上が、修正案を提出する大きい理由であります。遠州灘海浜公園（篠原地区）は、都市計画決定以降、未整備区域が多くあり、これまで平成6年度に一度構想が作られるものの、小笠山公園、ガーデンパークなどに先を越されてきました。地元の方々にとっては、公園整備は、悲願であるとも私たちは承知しております。

このような中で、今回当局から提案のあった「遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画策定事業費」



97,000千円については、お手元の資料にあるとおり、委託業務のうち野球場の整備に關係する基本計画図の作成48,000千円、交通アクセスの検討などの15,800千円、液化化対策の検討8,300千円を合わせた72,100千円については、野球場整備が前提となったものでありますので、当初予算に計上しないこととする修正案を提出することいたしました。

地質調査については、野球場を当該地区に整備することの可否の判断に役立つものであるとともに、その他の用途となった場合でも活用できるものと考え原案どおり計上するものとなります。

私たちは、西部地域の野球場の整備が、篠原地区だからダメというつもりはありません。当局におかれては、今後、様々な方々の意見を幅広く聞き、コンセンサスを得る努力をしていただき、県民の血税を投入する以上、誰からも作って良かったといわれるものを整備していただきたいと思っております。



活動報告

JR沼津駅付近の鉄道高架化など沼津駅周辺総合整備事業の推進を知事に申し入れ（建設委員会）

県議会建設委員会は3月17日、JR沼津駅高架化など駅周辺の事業を推進する為、知事に時期明示の初の申し入れを行いました。



「沼津駅高架時期明示を」

県議会建設委員会は、事業の完成時期を明示するよう求めた。

17日、JR沼津駅付近の鉄道高架化など沼津駅周辺総合整備事業の推進を川勝平太知事に申し入れた。委員会として同事業の推進を申し入れるのは初めて

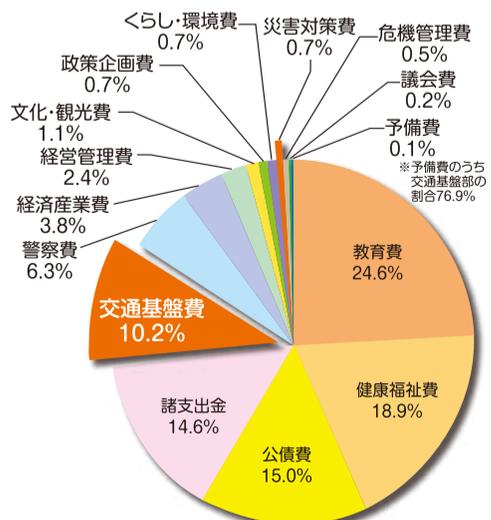
建設委員会は、事業の完成時期を明示するよう求めた。曳田卓委員長、良知淳行、土屋源由副委員長の3人が知事を訪ねた。沼津市が進める意味では（建設委員会）「沼津の活性化のため」と述べ、事業推進の方針を強調した。

平成28年3月18日 静岡新聞

平成28年度当初予算における交通基盤費前年度より減少

平成28年度一般会計当初予算が示されました。総予算額は増額しましたが、交通基盤費においては昨年度対でマイナス1.5%削減になりました。

平成28年度一般会計 款別当初予算額 (1兆2,409億円)



※写真はイメージです。

平成28年度 静岡県予算総括表 (単位:千円、%)

区分	平成28年度			比率	
	当初予算 A	当初予算 B	当初予算 C	当初比 A/B	最終比 A/C
一般会計	1,240,927,900	1,239,700,000	1,215,051,000	100.1	102.1
特別会計	450,295,000	503,542,000	498,682,481	89.4	90.3
合計	1,691,295,000	1,743,242,000	1,713,733,481	97.0	98.7

もっと良く知ろう!

平成28年度当初予算・組織定数改編(案)の方針

富国有徳の理想郷 世界にはばたく“ふじのくに”

富国有徳の理想郷“ふじのくに”の早期実現に向けた取り組みを加速化させ、世界水準の魅力を活かし、「世界にはばたく“ふじのくに”」を目指す予算編成と組織改編を行います。



※写真はイメージです。

方針1 “ふじのくに” ふじのくにづくりの総仕上げに向けた重点的取組

■世界にはばたく 3つの戦略

- **スポーツを通じた交流の拡大とスポーツ王国しずおかの復活**
東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ事前キャンプの誘致活動の展開
国体の上位入賞を目指した選手強化、地域におけるスポーツ活動の機会拡大
- **新しい地域外交の展開**
県産品の販路拡大などの通商の促進や県内企業の海外展開支援
東アジアを中心とした地域間交流の促進、訪日外国人の受入体制の強化
- **農林水産業の競争力の強化**
マーケティング戦略の策定とブランドの確立、高収益な作物栽培体系への転換促進
世界水準の森林認証の取得促進と国内外への販路拡大
- **後期アクションプランを推進するための8つの取組**

- | | | | |
|---------------|------------------|--------------|-------------------|
| ①大規模地震への万全の備え | ②内陸のフロンティアを拓く取組 | ③新成長産業の育成と創造 | ④エネルギーの地産地消 |
| ⑤人口減少社会への挑戦 | ⑥多彩な人材を生む学びの場づくり | ⑦健康寿命日本一の延伸 | ⑧富士山を活かした地域の魅力づくり |

方針2 将来を見据えた戦略的な行政運営

■将来にわたって安心な財政運営の堅持

・県債残高の抑制と将来に向けて活用可能な基金の確保

■時代のニーズに的確に対応する 機能的かつ能率的な組織づくり

・重点的かつ部局横断的な課題への、迅速かつ柔軟な対応

「命」を守る危機管理

減災力の強化

市町が取り組む地震・津波・火山対策事業を支援します。

- 3年間(H28~30)の事業計画を承認(90億円程度)
- 津波関連事業、屋内の安全対策事業(継続) 補助率:1/3→1/2(補助率引上げ)
- 火山防災マップ整備事業、津波避難施設等対津波安全性確保事業(新規) 補助率:1/2
- 家庭内家具固定等推進事業(拡充) 対象/避難行動要支援者を含む世帯を追加

予算案(一例)
緊急地震・津波対策等交付金
(危機政策課)
3,000,000千円

水産技術研究所等の地震・津波対策を推進します。

- 水産技術研究所本所と焼津漁港管理事務所の移転・合築(焼津市鯛ヶ島) 完成時期:H29年度末
- 水産技術研究所伊豆分場の現地建替え(下田市白浜) 完成時期:H30年度

水産技術研究所等整備事業費
(研究調整課)
849,000千円

原子力防災体制を強化するための機器等を整備します。

- アラームメーター、防護マスク ほか ●要配慮者施設等の放射線防護対策

原発防災資機材整備事業費
(原子力安全対策課)
1,161,000千円

原子力災害発生時の医療体制を整備します。

- 安定ヨウ素剤の事前配布 ほか 御前崎市 牧之原市
- 原子力災害拠点病院等の体制整備のための資機材整備

緊急被ばく予防対策事業費(新規)(地域医療課) 59,000千円

緊急医療施設等運営費(地域医療課) ……………89,000千円

一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造 豊かさを支える農林水産業の強化

水産物産地市場の衛生管理の高度化を図るとともに、地域水産業の競争力を強化するため、漁港等の荷さばき施設や燃油補給施設の再整備に対して助成します。

- 焼津漁港、伊東港、御前崎港

水産物産地市場施設整備関連
事業費助成(水産振興課)
1,187,330千円

ふるさとにっこり通信 第17号 2016.3
自民改革会議 静岡県議会議員

らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

らち淳行公式ブログをご覧ください
活動内容をご報告しています

検索 らち淳行 思ったこと

<http://rachiatsuyuki.eshizuoka.jp/>

